

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば



2019.6
第214号

看護の日イベント ～弘前病院から笑顔と真心を届けます～

「看護の日」とは看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけとなるようフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定されました。当院ではその「看護の日」にちなんで、5月22日に看護の日のイベントを開催しました。感染看護認定看護師による感染相談、助産師によるプレママ・ママ相談のコーナーを設けました。参加者の方々からは、「パンフレットを参考にやってみます」「ありがとうございました」との声が聞かれました。

夕方にはアンサンブルY'sの方々をお招きし、コンサート「大人の童謡」を開催しました。コンサートではやさしく美しいハーモニーが会場を包み、参加した患者さんからは「とても良かった」「来てよかった」と笑顔が見られ私達も有意義な時間を過ごす事ができました。イベントを通して改めて患者さんによりそう看護の心の重要性を感じ、これからも笑顔と真心を届けられるよう、より一層看護の質の向上に努めていきたいと考えています。

手術室副看護師長：永井 めぐみ



看護学校防災訓練

令和元年5月28日、看護学校にて防災訓練が行われました。今年度1学年は防火扉、火災検知器などの消防設備の見学、また消火器での消火体験を行いました。

消防設備の見学では、これまで意識してきていなかった校内の様々な場所に配置されていることや、その機能を知ることができました。消火体験では、今まで触れたことが無かった消火器の扱い

方を知ることができました。防災訓練を通してこれらの事を学んだことによって、実際の火災の場面に遭遇しても冷静な判断をもって、行動できる自信が身につきました。

地震や火災などの災害は人が忘れた頃にやってくるものなので、日頃から今日の防災訓練のことを思い出し、防災の意識を高めていきたいです。

1学年：佐々木 陽向



野村理先生の講演を聴いて

令和元年5月10日に、野村先生から「学校では教えてくれない ER 的小児のミカタとその教え方」とのタイトルでの講演がありました。小児の救急では症例が多岐にわたる一方重症患者が少ないため、重症患者への介入が遅れる症例が発生しているという社会的背景から話が始まりました。野村先生はその対策として、全例 PAD(外観・呼吸状態・皮膚への循環)とバイタルサインを評価し重症患者を早期に認識するべきと話していました。その

2つの評価は経験問わず研修医でも行うことができ、さらに上級医や専門医への橋渡しの上でも大切だと感じました。また評価した患者について、プレゼンを行いフィードバックしてもらうことが研修医のスキル向上につながると聞き、改めて救急の現場では基本的なバイタルや病歴の聴取とその報告が大切であることを学ぶことができました。野村先生は例えや表現が独特で面白く、終始和やかな雰囲気の中で学ぶことができました。

臨床研修医：佐藤 英太郎



令和元年に希望をはせて ～大鯿・大円寺参拝～

「平成」から「令和」へと元号が変わり、早いもので1ヶ月が経ちました。

「令和」は、万葉集の歌から出典されたとのことですが、さまざまな方がいろいろな意味で読み解いていますが、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。」との思いが込められているそうです。

今回、令和元年を迎えた5月1日に参拝した大鯿町の大円寺は、私が小さい頃から「大日様」と親しまれ、祖父母に度々連れられてきました。

受診・入院し、闘病されている患者様・ご家族にとっても「令和」の時代が希望の光となること、またこの世が平和な時代となることを改めて、切に願う機会となりました。

医療安全管理係長：白取 彩香



正面入り口から入ると、この日は満開の枝垂れ桜に迎えられました



令和元年5月1日参拝記念で御朱印もいただきました。令和の時代も「平和」でありますように・・・



研修医便り

初期研修1年目の小堀です。

研修が始まってあっという間に1ヶ月がたちました。4月の初めに比べると少しは病院に慣れてきたとは思いますが、まだまだ分からないことだらけです。4、5月は外科で大変お世話になりました。ご迷惑をおかけしながらも色々やらせていただき、ありがとうございました。



趣味はピアノと料理です。先日、ふと思い立って生地からピザを作ってみました。生地を発酵させるためドライイーストが必要だったのですが、思ったよりも大量に余ってしまい困っております。ドライイーストを使うレシピをご存じの方、或いはピザが食べたい方がいらっしゃいましたら、自分までご連絡いただければと存じます。

6、7月は消化器内科でお世話になる予定です。まだ研修も始まったばかりで至らない部分も多いですが、精一杯頑張ります。2年間よろしく願い申し上げます。

臨床研修医：小堀 宏理



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和元年6月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀 樹	横 田 貴 志	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹	熊本 秀 樹
呼吸器科		中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
		山 本 勝 丸	下 山 亜 矢 子	下 山 亜 矢 子	下 山 亜 矢 子	下 山 亜 矢 子
		下 山 亜 矢 子	田 中 佳 人	田 中 佳 人	—	田 中 佳 人
		—	石 岡 佳 子	—	—	—
消化器・血液内科		松 木 明 彦	相 原 智 之	相 原 智 之	松 木 明 彦	相 原 智 之
		山 口 公 平	間 山 恒	松 木 明 彦	間 山 恒	山 口 公 平
		佐 藤 年 信	千 葉 裕 樹	佐 藤 年 信	山 下 寛	佐 藤 年 信
		石 黒 陽	石 黒 陽	千 葉 裕 樹	石 黒 陽	石 黒 陽
	午後 血液内科のみ	間 山 恒	山 口 公 平	間 山 恒	山 口 公 平	—
脳神経内科		廣 畑 美 枝	清 野 祐 輔	—	清 野 祐 輔	清 野 祐 輔
小児科		杉 本 和 彦	佐 藤 工	敦 賀 和 志	佐 藤 工	杉 本 和 彦
		敦 賀 和 志	松 本 麻 希	佐 藤 啓	杉 田 梓	佐 藤 啓
		杉 田 梓	藤 岡 彩 夏	藤 岡 彩 夏	松 本 麻 希	藤 岡 彩 夏
外科		柴 田 滋	内 田 知 顕	柴 田 滋	内 田 知 顕	三 上 勝 也
		—	堤 伸 二	堤 伸 二	堤 伸 二	—
乳腺外科		小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅	小田桐 弘 毅
整形外科	午前	岩 崎 宏 貴	秋 元 博 之	秋 元 博 之	中 村 吉 秀	秋 元 博 之
		藤 田 有 紀	中 村 吉 秀	岩 崎 宏 貴	藤 田 有 紀	岩 崎 宏 貴
		猿 賀 達 郎	藤 田 有 紀	猿 賀 達 郎	—	佐 々 木 静
脳神経外科		—	—	木 村 正 英	—	—
皮膚科	午前	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行
		佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲
	午後	● 予 約	● 手 術 / 検 査	● 予 約	● 手 術 / 検 査	● 予 約
泌尿器科	午前	成 田 拓 磨	成 田 拓 磨	成 田 拓 磨	成 田 拓 磨	成 田 拓 磨
	午後	検 査	検 査	手 術	検 査	手 術
産婦人科		飯 野 香 理	金 森 正 紘	松 村 由 紀 子	● 妊 婦 健 診 (一般外来休診)	飯 野 香 理
		松 村 由 紀 子	丹 藤 伴 江	丹 藤 伴 江	—	追 切 裕 江
眼科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳鼻咽喉科		西 澤 尚 徳	西 澤 尚 徳	西 澤 尚 徳	西 澤 尚 徳	西 澤 尚 徳
		野 村 彩 美	松 下 景	—	—	—
放射線科	診断	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄	佐 々 木 幸 雄
	治療	—	—	川 口 英 夫 (午後)	—	川 口 英 夫 (午後)
女性専用外来		—	杉 本 菜 穂 子 (※予約制 / 第1・第3)	—	水曜日午後診療	—
セカンドオピニオン		—	—	—	休 診	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
 ※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

窓の外 紫陽花眺め 笑みこぼれ (石沢)

あきらめた 命救われ 花が咲き (チロル)

こもればや 岩木の峰に 夕日見る (小山内よし子)

※掲載作品は広報誌編集委員会を選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
 TEL 0172-32-4311
 FAX 0172-33-8614
 URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>